

平成24年6月25日
総合政策局

平成24年度2級建設機械施工技術検定(学科)試験における 試験問題の一部誤りについて

建設機械施工技術検定試験は、国土交通大臣の指定試験機関である、一般社団法人日本建設機械施工協会が実施しているところではありますが、去る平成24年6月17日(日)に行われた「平成24年度2級建設機械施工技術検定(学科)試験」において、問題の一部に誤植がありました。

国家試験である、建設機械施工技術検定試験において、このような事態が発生し、受験者の皆様にご迷惑をおかけしたことに對しお詫びいたします。

また、指定試験機関である、一般社団法人日本建設機械施工協会のホームページ (<http://www.jcmanet.or.jp/>) においても、当該試験問題についての正誤表及び受験者全員を正答として採点する旨掲載されております。

なお、試験内容についてのお問い合わせは、一般社団法人日本建設機械施工協会試験部(電話 03-3433-6141)までお問い合わせください。

問い合わせ先

国土交通省総合政策局公共事業企画調整課

関澤 課長補佐 代表 03-5253-8111 (内線 24913)

※夜間直通 03-5253-8284

F A X 03-5253-1551

誤	正
<p>「No.11」バックホウで効率よく安全に掘削作業をするための留意点に関する次の記述のうち、適切なものはどれか。</p> <p>(1) 路肩の足元の掘削では路肩が崩壊する危険があるので、退避が容易となるようクローラを路肩に平行に向けるようになる。</p> <p>(2) 軟弱地では、特にフロント側が沈みやすくなり安定性が悪くなるので、角材を数本たばねた沈木としてクローラの下に敷くとよい。</p> <p>(3) 掘削は主としてブームの引込み力を利用し、必要に応じてアームのかき込み力を利用する。</p> <p>(4) バックホウでは、バケットシリンダとバケットリンクとの角度が45°のときバケットシリンダによる掘削力が最大となる。</p>	<p>「No.11」バックホウで効率よく安全に掘削作業をするための留意点に関する次の記述のうち、適切なものはどれか。</p> <p>(1) 路肩の足元の掘削では路肩が崩壊する危険があるので、退避が容易となるようクローラを路肩に平行に向けるようになる。</p> <p>(2) 軟弱地では、特にフロント側が沈みやすくなり安定性が悪くなるので、角材を数本たばねた杭木としてクローラの下に敷くとよい。</p> <p>(3) 掘削は主としてブームの引込み力を利用し、必要に応じてアームのかき込み力を利用する。</p> <p>(4) バックホウでは、バケットシリンダとバケットリンクとの角度が45°のときバケットシリンダによる掘削力が最大となる。</p>